

(株)スオル

資源のリサイクルが環境を守る。

持続可能な未来のための
最適な原料ソリューション — 株式会社スオル



suol5201.com

韓国 忠清南道 公州市 正安面 正安農工団地キル 32-100

TEL +82-41-853-8070 FAX +82-55-346-3455





(株)スオル SUOL CO., LTD



所在地
大韓民国 忠清南道 公州市

設立年月
2013年5月

TEL
+82 55 346 4020

FAX
+82 55 346 3455

E-mail
Suol5201@hanfeed.com

主要製品（生産量）
チキンミール（月産2,000トン）
加水分解フェザーミール（月産1,000トン）
鶏油（月産1,000トン）

認証取得状況
ISO 9001、ISO 14001

資源のリサイクルが環境を守る。

全国の食鳥処理場および食鳥処理関連施設から発生する動物性副産物(羽毛、内臓、血液)をリサイクルするための設備を製作・設置しています。

設備運営

リサイクル機械・設備を自社で運営し、廃棄物の中間処理物を活用しています。中間加工された動物性副産物は、(株)スオル、(株)ユウオン、(株)ハンジュに委託し、最終リサイクル製品を生産しています。

会社紹介

COMPANY INTRODUCTION

SUOL CO., LTD.は、2013年に韓国・公州市で設立され、韓国内33か所の鶏・アヒル処理場から発生する内臓、骨、羽毛などの副産物を活用し、チキンミール、加水分解ミール、鶏油などの飼料原料を製造する企業です。

当社は、「お客様満足の最大化」を最優先の目標とし、原料を常に新鮮な状態で管理するとともに、製品品質の継続的な向上に努めています。

家禽ミール

フェザーミール

家禽油



全国の家禽加工工場

堤川(チェチョン)のクムオ食品、忠州(チュンジュ)の(株)CS・(株)チヨンソル、保寧(ポリョン)のクムファ食品、瑞山(ソサン)のシヌ食品、牙山(アサン)のトゥルニョクなど、全国17か所の工場に設備を設置し、運営しています。



最終リサイクル製品

動物性副産物を再資源化し、鶏肉粉、鶏油、フェザーミール、血粉などの高付加価値製品として安定的に供給しています。資源循環を促進し、環境負荷の低減にも貢献しています。



展望

生産されたフェザーミールは、国内の配合飼料メーカーに原料として販売されるほか、ベトナムにも輸出しています。国内販売 80% / 輸出 20%



販売

今後、養殖産業およびペット産業の成長に伴い、単味飼料や動物性油脂の使用量が増加すると予想され、それに伴って輸出および国内需要もさらに拡大することが期待されます。

リサイクル環境機械および設置状況

RECYCLING ENVIRONMENTAL MACHINERY AND INSTALLATION STATUS

機械(レンダリング設備)設置



精密さと革新で、
信頼されるシステムを構築する

体系的なレンダリング設備により、
原料処理から分離・加工までの生産工程を効率化し、
安定した品質と高い生産性を実現しています。

当社は、原料の効率的な再資源化と安定した生産環境の構築を目的として、専門的なレンダリング（Rendering）設備を設置・運用しています。レンダリング設備は、投入された原料を一定の温度と条件で加熱・処理し、水分や油分を効率的に分離するとともに、後工程に適した均一な状態へ加工する中核的な生産設備です。

各設備は、原料投入から加熱、乾燥、油分分離、後処理までの工程が円滑につながるよう体系的に構成されています。工程ごとの温度や処理条件を安定的に管理することで、原料品質のばらつきを最小限に抑え、家禽ミールおよび家禽油の生産に必要な均一な原料状態を確保できるよう設計されています。

また、生産設備と配管、貯蔵・搬送システムを有機的に連携させることで、作業効率を高めるとともに、不要な原料ロスを抑えられる生産環境を構築しています。これにより、原料処理から製品生産まで各工程の連続性と安定性を確保し、生産性の向上と品質管理の効率化を同時に実現しています。

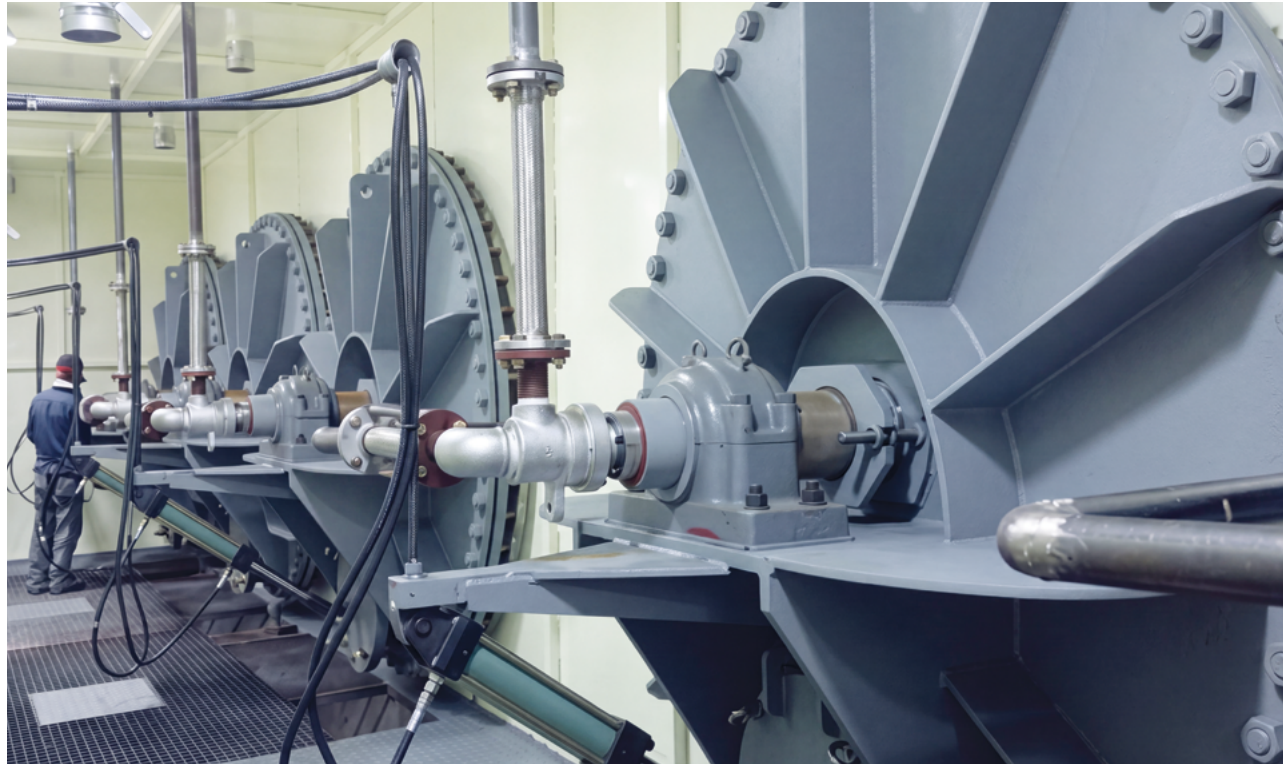
当社は、継続的な設備管理と工程改善を通じて安定した生産基盤を強化し、原料資源の有効活用と高品質な製品生産を支える生産インフラのさらなる充実に取り組んでいます。

原料の効率的な再資源化と安定生産を実現するため、専門的なレンダリング設備を構築・運用しています。原料の加熱・処理、水分・油分の分離、後工程との連携を体系化することで、生産効率を高め、均一な品質の家禽ミールおよび家禽油を安定して生産できる環境を整えています。



機械設備

FACTORY LAYOUT AND EQUIPMENT



レンダリング設備

原料を加熱・処理し、含まれる水分や油分を効率的に分離するための主要生産設備です。原料の状態に応じて適切な温度と時間で処理を行うことで、衛生性を確保するとともに、家禽ミールや家禽油などの製品原料として安定した品質を得られるようにします。



デカンター（遠心分離機）

遠心力を利用して液体中の固形物や不純物を分離・除去し、家禽油の純度と品質を高める設備です。



エクスペラー（圧搾機）

機械的な圧力で原料中の油分を効率的に分離し、家禽ミールの油分含有量を調整する設備です。



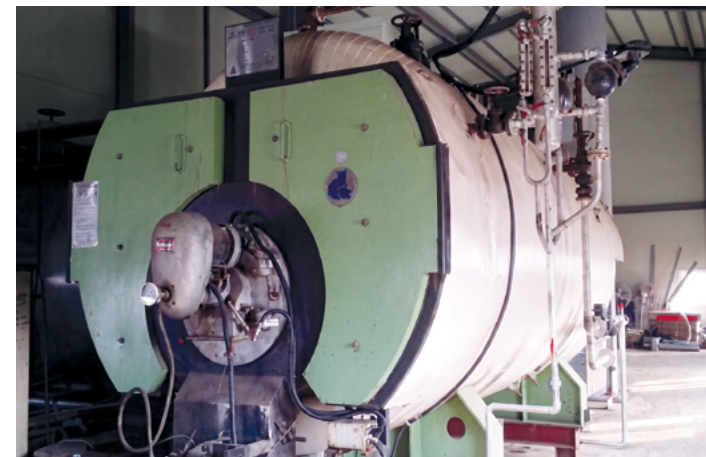
クラッシャー（ハンマーミル）

原料を高速回転するハンマーの衝撃によって細かく粉砕し、製品に適した均一な粒度へ整えるための設備です。



ケトル（加熱処理槽）

原料を一定の温度で加熱・攪拌し、水分を蒸発させながら原料の状態を均一に整えるための設備です。



デカンター（遠心分離機）

燃料を燃焼させて高温の蒸気を生成し、レンダリング設備やケトルなどの各種生産設備に必要な熱エネルギーを供給する設備です。

チキンミール 65%



» 製品仕様

項目	単位	保証値
粗たん白質	%	65以上
粗脂肪	%	15以下
粗灰分	%	15以下
水分	%	8以下
ペプシン消化率	%	80以上
大腸菌		不検出
サルモネラ菌		不検出

チキンミール 60%



» 製品仕様

項目	単位	保証値
粗たん白質	%	60以上
粗脂肪	%	15以下
粗灰分	%	15以下
水分	%	8以下
ペプシン消化率	%	80以上
大腸菌		不検出
サルモネラ菌		不検出

加水分解フェザーミール



» 製品仕様

項目	単位	保証値
粗たん白質	%	75以上
粗脂肪	%	12以下
粗灰分	%	3以下
水分	%	10以下
ペプシン澄化率		不検出
大腸菌		不検出
サルモネラ菌		不検出

鶏油



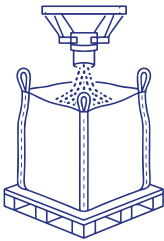
» 製品仕様

項目	単位	保証値
水分	%	1以下
粗脂肪	%	99以上
酸価	mgKOH/g	10以下
総エネルギー	kcal/kg	8,500以上

生産工程図(家禽ミール・家禽油)

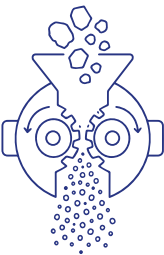
PRODUCTION PROCESS FLOW (POULTRY MEAL & POULTRY OIL)

原料を工場へ搬送した後、レンダリング（Rendering）工程により加熱・処理し、その後、家禽ミール（Meal）と家禽油（Oil）に分離します。分離された家禽ミールはケトル（Kettle）を経て、エキスペラー（Expeller）でさらに油分を除去した後、粉砕機（Pulverizer）で均一な粒度に粉砕します。その後、ふるい分け（Sieve）工程で異物や粒度を選別し、トンバッグに包装して最終製品として出荷します。



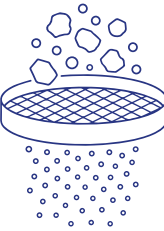
ふるい分け

粉砕された原料を専用のふるい設備に通し、粒子の大きさを一定の基準に合わせて選別する工程です。規格より大きな粒子や十分に粉砕されていない原料を分離するとともに、製品中に混入する可能性のある異物などを取り除き、最終製品の粒度と品質を均一に整えます。この工程を通じて、製品の外観や使用性を安定させるだけでなく、品質基準に適合した製品を継続的に生産できるよう管理します。



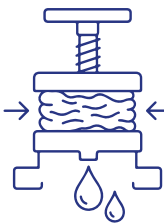
包装

すべての生産・品質管理工程を完了した最終製品を、規定された重量および仕様に合わせて包装容器へ充填する工程です。製品の特性や出荷条件に応じて、トンバッグなどの適切な包装資材を使用し、保管や運搬の際に製品の品質が維持されるよう安全に包装します。包装後は製品重量や包装状態を確認し、保管・物流・輸出などの各条件に適した状態に整えたうえで、最終的に顧客へ出荷されます。



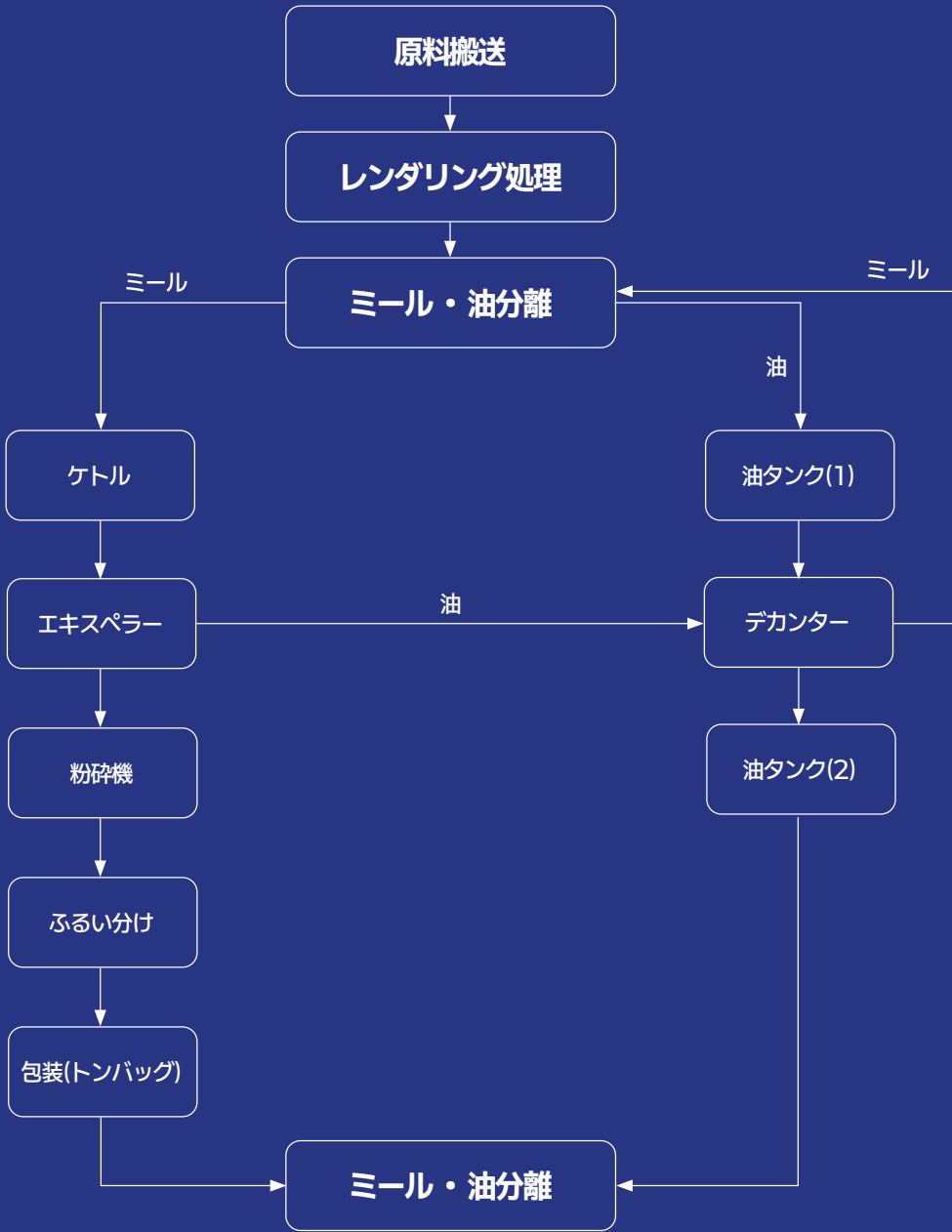
脱油

原料に含まれる余分な油分を機械的に分離・除去する工程です。エキスペラーなどの設備を利用して原料に圧力を加え、固形分と油分を効率的に分離します。これにより、後工程での粉砕や選別を安定して行うことができるほか、製品中の油分含有量を適切に調整し、品質の均一化と保存安定性の向上にもつながります。また、分離された油分は回収後、別工程で精製・管理され、家禽油などの製品原料として活用されます。



粉砕

脱油工程を経た固形原料を、製品に適した均一な粒度になるまで細かく粉砕する工程です。粉砕機を使用して大きさの異なる原料を一定の粒子サイズに整えることで、製品全体の均一性を高め、後続するふるい分けや包装工程をより効率的に行えるようにします。また、粒度を適切に管理することにより、飼料原料として使用する際の配合性や取扱性を向上させ、最終製品の品質安定にも寄与します。



一方、分離工程およびエキスペラー工程で発生した家禽油は、1次オイルタンク（Oil Tank 1）に貯蔵されます。貯蔵された家禽油はデカンター（Decanter）を通して固形物や不純物をさらに分離・精製し、2次オイルタンク（Oil Tank 2）へ移送されます。その後、品質確認を経て最終製品として出荷されます。

新市場開拓の現状および準備状況

NEW MARKET DEVELOPMENT STATUS AND READINESS

タイ国際畜産博覧会に参加 (2025. 3. 12 ~ 14)

22か国・76名が当社ブースを訪問・商談 - インドネシア、オランダ：50万ドル規模の商談を進行中



品目の多様化：飼料から肥料市場への事業拡大を模索 (2025.11.09 ~12)

ドイツ・ハノーバー「AGRITECHNICA」展示会への出展準備中



- » 品目の多様化：飼料から肥料市場への事業拡大を模索
(陝川：倉庫竣工完了／2025年3月6日)

» インドネシア・フィリピン市場開拓に向けた試験注文を受注
(4月：1コンテナ発注)

» 物流方式の多様化によるコスト対応力の強化
従来の20フィートコンテナ輸送に加え、40フィートコンテナ、バルク輸送、各種包装形態へと多様化し、物流費上昇などのコスト増加要因への対応力を強化。

» 家禽ミールのタンパク質含有率の多様化
顧客ニーズに応じたタンパク質含有率の調整など、カスタマイズ (CUSTOMIZING) を推進。
- » 自社生産設備技術に関する特許取得を推進中

» プレミアムペットフードおよび養殖飼料市場への事業拡大
ペットを家族の一員として捉える「ペットファミリー (Pet + Family)」の傾向が強まる中、付加価値の高い高級・プレミアム製品への需要が増加している。これに伴い、ペットフードの高級化と積極的なマーケティングを推進し、当社売上も増加傾向を示している。
また、関連する大手企業のニーズを把握するとともに、原料配合に関する研究や顧客要求に対応した製品ラインアップの拡充を進めている。さらに、魚類養殖産業への参入に向け、生産提携の可能性を検討しており、現在、東南アジアの多国籍企業が運営する配合飼料工場との協議を進めている。

成長可能性

NEW MARKET DEVELOPMENT STATUS AND READINESS

今後3年間の推進計画



原料受入場所および当社工場の現状

RAW MATERIAL RECEIVING PLACE AND CURRENT STATUS OF OUR FACTORY

- 製造工場
- 原料供給業者

